

# 第1回「“実践者のための”論文の書き方 コーチング」のご案内

## 《趣旨》

優れた実践が公開されることなく、現場にうずもれていることが多々あります。実践を記録(実践研究論文や実践研究ノート等)として残し、またその成果を広く学会で共有することは、実践を重視してきた国際理解教育学会の発展にとって極めて重要であると考えます。

しかし、現状では、学校現場等の実践者から投稿された論文については、実践内容は意義深いものであっても、論文としての作法や体裁が充分整っていないために、掲載に至らないケースが多々あります。また、論文としての作法や体裁がよくわからないため、論文を執筆し、紀要に投稿することを躊躇われる方も多くいらっしゃると思います。

そこで、実践者による優れた実践の論文化を促進し、学会の紀要がさらに充実したものになることを目指し、紀要編集委員及び理事による第1回「“実践者のための”論文の書き方コーチング」を開催いたします。

積極的なご参加を心よりお待ちしております。

《内容》 学校現場等の実践者向けに、国際理解教育についての論文の書き方をコーチングします。

《対象》 主に幼・小・中・高・特別支援学校の教員等の実践者である学会員

《日程》 2017年8月6日(日)14:00~17:00 予定

(途中退室可能です)

《会場》 中央大学駿河台記念館 410号室

(JR お茶ノ水駅から徒歩5分程度)

《参加費》 無料

《当日の流れ》

1. 論文の作法や体裁、最低限抑えるべき条件についての説明
2. 説明についての質疑応答
3. サンプル検討(実践者が実際に書いたものについての問題・改善方法等)
4. 実践研究論文が掲載されるまでの体験談・アドバイス
5. まとめ
6. 個別相談(希望者)

《申込方法》 事前申込を受け付けます。事前締切: **8月1日(火) 18:00** まで

(当日参加も可能ですが人数の把握・準備のため、なるべく事前申し込みをお願いします。)

問合せ・申込み先: Eメール [ihromita@gmail.com](mailto:ihromita@gmail.com) (紀要編集委員 石森 広美)

電話 **090-4478-5729** (石森) または **090-9137-5993** (紀要編集委員 成田 喜一郎)

